ことも おほかれとけふあすすくしてさふらふへしとかき給へりこれはなに事そ
とあま君おとろきてこなたへもわたりてみせたてまつり給へはおもてうちあか
みて物のきこえのあるにやとくるしう物かくしゝけるとうらみられんをおもひ
つゝくるにいらへんかたなくてゐたまへるに猶のたまはせよ心うくおほしへた
つる事といみしくうらみてことの心をしらねはあわたゝしきまておもひたるほ
とにやまよりそうつの御せうそこにてまいりたる人なんあるといひいれたりあ
やしけれとこれこそはさはたしかなる御せうそこならめとてこなたにといはせ
たれはいときよけにしなやかなるわらはのえならすさうそきたるそあゆみきた
るわらうたさしいてたれはすたれのもとについゐてかやうにてはさふらふまし
くこそはそうつはの給しかといへはあまきみそいらへなとし給ふみとりいれて
みれはにうたうのひめきみの御かたにやまよりとてなかき給へりあらしなとあ
らかふへきやうもなしいとはしたなくおほえていよ〳〵ひきいられて人にかほ
もみあはせすつねにほこりかならす物したまふ人からなれといとうしろめた
なといひてそうつの御文みれはけさこゝに大將殿のものし給ておほんありさま

【青表紙本】❶おほかれと—おほけれと陽 ❶これは—たれは勝 ❷こなたへもわたりて—こなたへもてわたりて勝肖三大 ❷うちあかみて—あかみて榊陽—うちあかめて肖三 ❸あるにやと—あるにやと榊 ❸物かくしゝけると—ものかくしゝけりと榊—ものかへ〳〵しゝけると陽 ❹いらへんかたなくて—いらへんかたなくて勝 ❺いみしく—いみしう榊 ❼これこそは—たれこそは勝 ❼さは—ナシ横—さは榊—さ勝 ❸きよけに—しなきよけに榊 ❸かやうにては—かやうにて平 ❹さふらふましく—さふらふましき〈く〉横 ⓬おほえて—おほし〈え〉て三 ⓬ひきいられて—おくのかたにひきいられて肖 ⓬人に—人〳〵に三 ⓬かほも—かほを陽 ⓭つねに—つねも肖 ⓭心うしなと—心うしとなと横 ⓮大將殿の—大將殿榊 ⓮おほんありさま—御ありさま横榊平大

【河内本】❷こなたへもわたりて—こなたへもてわたりて七 ❷うちあかめて御—あかみて前 ❸物かくしゝけると—ものかくしゝけると御 ❿あまきみそ—あまきみみそ御 ⓫にうたうのひめきみの—にうたうのひめきみ御 ⓫あらしなと—あらしと七 ⓬おほえていよ〳〵—ナシ前 ⓬ひきいられて—をくのかたにひきいられて御尾大鳳—おくのかたに引いられて七—ナシ前 ⓭うたて—ナシ前 ⓮そうつの—そうつ御 ⓮もの し給て—物し給とて御

【別本】❶ことも—事宮保國桃 ❶おほかれと—おほかれは宮國 ❶すくして—ゝ〈ス〉くし保 ❶さふらふ—まいりさふらふ宮國 ❶給へりこれは—給へりこれを宮國—給へりけれは麥阿 ❷こなたへもわたりて—こなたにもてわたりて宮保國桃—こなたへわたりて麥阿 ❷たてまつり給へは—たてまつれと宮保國桃 ❸きこえの—きこえ保桃 ❸物かくしゝけると—ものかくしゝける事と宮國—ものかくしゝけると桃 ❸おもひつゝくる—思つゝけゝる麥阿 ❹ものかくしゝけると麥阿—ものかくしゝけると麥阿 ❹ゐたまへる—ゐたる麥阿 ❹心うく—かく宮國 ❹おほしへたつる—おほしへたつる宮保國桃 ❺うらみて—たらみて國 ❺おほもひたる—思ゐたる阿 ❻御せうそこにて—御せうそことて麥阿 ❼さは—ナシ麥阿 ❼ならめ—なめれ麥阿 ❽さうそきたるそ—さうそきたるある麥—さうそきたる阿 ❽あゆみきたる—あゆみきたり麥 ❾わらうたわらはた國 ❾かやうにては—かやうには宮國 ❿こそは—こそ宮保國桃 ❿ふみ—ふみなと保桃 ❿とりいれて—とりいてゝあるを麥阿 ⓫みれは—みたまへは保桃 ⓫御かたに—御かたへ宮國 ⓫とて—とてなん麥阿 ⓫あらしなと—なしと保桃—あらぬなと麥阿 ⓬ひきいられて—おくのかたにひきいられて桃麥阿—おくのかたにひきいられて桃 ⓭みあはせす—えみあわせす宮國—みあはせ給はす桃 ⓭つねに—つねも保桃 ⓭うたて心うし—うたてく心うく保桃 ⓮御文—御ふみを宮國 ⓮みれは—なれは保 ⓮けさこゝに—けさ宮國—こゝにけさ麥阿 ⓮大將殿の—大將殿宮保國—大將麥

たつねとひ給はしめよりありしやうくはしくきこえ侍ぬおほん心さしふかかり
ける御中をそむきてあやしき山かつの中に出家し給へることかへりては佛のせ
めそふへきことなるをなんうけ給はりおとろき侍いかゝはせんもとの御ちきり
あやまちたまはてあいしふのつみをはるかしきこえ給て一日のすけのくとくは
ゝかりなき物なれは猶たのませたまへとなんこと〳〵には身つからさふらひて
申侍らんかつ〳〵このこきみきこえ給てんとかきたりまかうへうもあらすかき
あきらめ給へれとこと人は心もえすこのきみはたれにかおはすらんなをいと心
うしいまさへかくあなかちにへたてさせ給とせめられてすこしとさまにむきて
みたまへはこのこはいまはとよをおもひなりしゆふくれにいまこひしとおもひ
し人なりけりおなし所にてみしほとはいとさかなくあやにくにおこりてにくか
りしかとはゝのいとかなしくして宇治にも時〳〵ゐておはせしかはすこしおよ
すけしまゝにかたみにおもへりしわらは心をおもひいつるにゆめのやうなりま
つはゝのありさまいととはまほしくこと人〳〵のうへはをのつからきけとおや
のおはすらんやうはほのかにもえきかすかしと中〳〵これをみるにいとかなし

【青表紙本】❶たつねとひ給—たつねとひたまふに横平勝肖三大 ❶くはしく—ナシ横 ❶おほん心さし—御心さし榊平肖大 ❷そむきて—そむき給て横平肖三大 ❷中に—なかに横榊勝三 ❷出家—出家〈す〉横—すけ平 ❷せめ—御せめ榊 ❸おとろき—おとろく〈き〉横 ❹はるかし—はるかし大 ❹すけ—出家横陽三大 ❹くとくは—功德横陽平 ❻きこえ給てん—きこえ侍てん陽 ❻かきたり—かきこえたり横—かいたり平肖大 ❻まかうへうもあらす—まかふへくもあらす陽平勝肖三大 ❾よを—ナシ横 ❾ゆふくれに—ゆふくれにも横平勝肖三 ❾いま—いと横榊陽平勝肖三大 ❿なりけり—なりけりと榊 ❿いと—いと勝 ⓫いと—くかりしかとも横 ⓫いとかなしくして—いとかなしして榊—いみしくかなしくして肖 ⓫すこし—すすし平 ⓬おもへりし—おもへり大 ⓬おもひいつる—思ひいつるにも平勝肖三 ⓭きけと—やう〳〵ときけと横勝肖三—やう〳〵ときけと平—やう〳〵ときけ〈ケ〉と大 ⓮えきかすかしと—えきかすかしと榊 ⓮かなしくて—かなしく平

【河内本】❶たつねとひ給—たつねとひ給に河 ❷そむき七 ❷せめそふへき—せめそふへき七 ❸こきみ—きみ七 ❹あやまち—あやまり七 ❸すこしとさまに—ナシ御 ❾いまは—いまは御 ❾ゆふくれにいま—ゆふくれにもいと河 ❿いと—ナシ御 ⓫いと—いみしう河 ⓫かなしく—ナシ大 ⓫ゐて—ナシ七 ⓫すこし—ナシ御 ⓬わらは心を—心御—わらは心をも前 ⓬おもひいつるに—おもひいつるにも河 ⓭きけと—やう〳〵きけと河

【別本】❶たつねとひ給—たつねとひ給に別 ❷そむきて—そむき給て別 ❷出家し—すこし麥阿桃 ❷かへりて宮國—かきりては保 ❹あやまちたまはて—あやまたて保桃 ❹きこえ給て—給へ宮國 ❹一日の—一たひ保 ❹くとく—とくはくとく保桃 ❺ゝ〈〳〵〉かりなき—はかりもなき宮保國桃 ❺物—事桃 ❺たまへとなん—給ふへくなん宮保國桃—給へなと麥阿 ❺こと〳〵には—こと〳〵は保桃 ❻ときみ—きみ保麥阿 ❼心もえす—え心もえす宮國 ❽かくあなかち—あなかちにかくく宮國—かくひ給あなかちに麥阿 ❽させ—ナシ保 ❾よを—ナシ宮國 ❾ゆふくれにいま—夕くれにもいと別 ❾こひしとおもひし—戀しかりし宮保國桃 ⓫はゝの—御なの桃 ⓫いとーいみしう保麥阿桃 ⓫かなしくして—かなしうて阿 ⓫時〳〵—さま〳〵阿 ⓫おはせしかは—おはしましゝかは麥阿 ⓫すこし—ナシ保桃 ⓬まゝに—まゝ麥阿 ⓬わらは心を—わらはと麥阿 ⓬おもひいつるに—思ひいつるにも宮保國—思出るも麥阿桃 ⓭いと—ナシ麥阿—い桃 ⓭こと人〳〵—こと人宮國 ⓭うへ—こゑ桃 ⓭きけと—やう〳〵きけと別

くてほろ〳〵となかれぬいとおかしけにてすこしうちおほえたまへる心もす
れはおほんはらからにこそおはすめれきこえまほしくおほす事もあらんうちに
いれたてまつらんといふをなにかいまは世にある物ともおもはさらんにあやし
きさまにおもかはりしてふとみえんもはつかしとおもへはとはかりためらひて
けにへたてありとおほしなすらむかくるしさに物もいはれてなんあさましかり
けんありさまはめつらかなることゝみ給てけんをさてうつし心もうせたましひ
なといふらん物もあらぬさまになりにけるにやあらんいかにも〳〵すきにしか
たのことを我なからさらにえおもひいてぬにきのかみとかありし人の世の物か
たりすめりし中になんみしあたりのことにやとほのかにおもひいてらるゝこと
ある心ちせしそのゝちとさまかうさまにおもひつゝくれとさらにはか〳〵しく
もおほえぬにたゝひとりものしたまへし人のいかてとをろかならすおもひため
りしをまたやよにおはすらむとそれはかりなん心にはなれすかなしきおり〳〵
侍にけふみれはこのわらはのかほはちゐさくてみし心ちするにもいとしのひか
たけれといまさらにかゝる人にもありとはしられてやみなんとなん思侍かの人

【青表紙本】❷おほんはらから―御はらから横大 ❸なにかー―なにかは横 ❸世にある―は世ある平 ❹おもかはりして―おもかはりして池 ❹ふと―ふとも横 ❺ありと―ありとも三 ❻さて―ナシ平大 ❻たましひ―たまし横 ❸我なから―わすれなから平 ❸世の物かたり―よの物かたりに陽 ❾すめりし中になん―すめりしなかになん横陽肖三大―すめりし中になむ勝 ❿はか〳〵しくも―はか〳〵しうも榊―はか〳〵しく平 ⓫たまへし―給し横平勝肖三大 ⓫人の―人平 ⓭侍に―侍に横 ⓭心ちするにも―心ちする に肖三 ⓮やみなんとなん―やみなんとなん三

【河内本】❶うちおほえ―おほえ七 ❻うつし心も―うしころも御 ❸ことを―事御 ❸さらにえおもひいてぬに―さらにも思ひいてぬに河 ❾ことにやと―事にや御 ⓫たまへし―給し河 ⓫おもひためりしを―おもひたまふめりしを大 ⓮人にも―人には御 ⓮やみなんとなん―やみなむと七

【別本】❶心ちも―心ち保桃 ❷おほんはらから―御はゝから國 ❷きこえまほしく―きかまほしう宮國 ❹とはかり―今はかり阿 ❹はつかしと―はつかしうと桃 ❺おほしなすらむか―おもほすらむか保桃―おほすらん國―おもほしなすらん麥 ❺くるしさ―くちをしさ保 ❺あさましかりけん―あやしかりけん宮國―あさましかりける麥阿 ❻みゝ給てけん―みゝ給けん宮國麥阿―みたてまうてけん桃 ❻うせ―うせ給し麥阿 ❼けるにや―ける國 ❸さらにえおもひいてぬに―さらに思出ぬに宮國―さらにえおもひいてぬを保―さらにも思出ぬに麥―さらに孟思ひいてぬと桃 ❸物かたりすめりし―物かたりすなりし宮保國 ❾ほのかに―ナシ麥 ❾ことある―ナシ保桃 ❿おもひつゝくれと―おもひつゝくると國 ⓫たまへし―給し別 ⓫いかてと―ナシ宮國麥阿 ⓫おもひためりしを―思給へりしを宮保國―思ひ給ひしを桃 ⓬またやよに―また世にや宮國―またや世にや麥 ⓬わらはの―わらはか宮國―わらは保桃 ⓬かほは―かほ麥阿 ⓭心ちするにも―心ちするも宮保國桃 ⓮いまさらに―いまさら桃 ⓮やみなんとなん―やみなんと宮國 ⓮かの人―かの人も保―かの人の桃

もしよにものしたまはゝそれひとりになんたいめんせまほしくおもひ侍このそ
うつのゝ給へる人なとにはさらにしられたてまつらしとこそおもひはへれかま
へてひかことなりけりときこえなしてもてかくし給へとのたまへはいとかたき
ことかなそうつの御心はひしりといふなかにもあまりくまなくものしたまへは
いまさらにのこいてはきこえたまひてんやのちにかくれあらしなのめにかろ
〳〵しき御ほとにもおはしまさすなといひさはきてよにしらす心つよくおはし
ますこそとみないひあはせてもやのきはにき丁たてゝいれたりこのこもさはき
ゝつれとおさなけれはふといひよらんもつゝましけれと又侍御文いかてたてま
つらんそうつの御しるへはたしかなるをかくおほつかなく侍こそとふしめにて
いへはそゝやあなうつくしなといひて御文御らんすへき人はたゝにものせさせ
給めりけさうの人なんいかなることにかと心えかたく侍を猶のたまはせよおさ
なき御ほとなれとかゝる御しるへにたのみきこえ給やうもあらんなといへはお
ほしへたてておほ〳〵しくもてなさせ給にはなにことをかきこえ侍らむうとく
おほしなりにけれはきこゆへきことも侍らすたゝこの御文を人つてならてたて

【青表紙本】❶たいめん―たいめ横 ❶そうつのゝ給へる―そうつのゝまへる榊―そうつののたまへる勝 ❷おもひは―へれ―思ひ侍りつれ平大 ❸なりけり―なりける（り）横 ❸かたきこと―かたいこと平勝肖三大 ❹なかにも―中にも横 ❹くまなく―くまなくて横 ❺いまさらに―いまさらに横―まさに榊陽平勝肖三大 ❺のこいては―のこい〳〵（て）は横 ❺かろ〳〵しき―かる〳〵しき横 ❻御ほとにも―程にも陽 ❻なと―なと勝 ❼こそと―こそなと肖三 ❼いひあはせて―いひあはけ（せ）て陽 ❸いかて―いかてか陽肖三 ❾御しるへは―おほんしるへは横平勝肖三 ❿たゝに―こゝに横榊陽平勝肖三大 ⓬きこえ―きこえきせ三 ⓬いへは―いへと榊陽平勝肖三大 ⓭おほ〳〵しく―おほ〳〵しう榊 ⓭なにことをか―なに事をかは榊陽 ⓮人つて―人す（つ）て横

【河内本】❶ひとりに―ひとり御七 ❷しられ―ありとしられ河 ❷おもひ―おもひは―へれ―おもひ侍りつれ河 ❹御心―御こと七 ❻おはしまさす―おはします七 ❼こそと―こそなと御尾前大鳳―なと七 ❿たゝに―こゝに河 ⓫猶―ナシ七 ⓬いへは―いへと河 ⓭侍らむ―侍らんと河

【別本】❶ひとり―ひとりはかり保桃 ❶おもひ―おほえ保桃 ❶そうつの―僧都國 ❷人―ナシ阿 ❷しられ―ありとしられ別 ❷おもひは―へれ―思ひ侍る桃 ❷かまへて―あか君宮保國桃 ❸なりけり―なり保桃 ❸かたきこと―大事麥阿 ❹くまなく―くまなく宮國 ❺いまさらに―まさに宮保國桃 ❺のちに―のち保桃―のちも麥阿 ❼こそと―こゝと保―なといひて麥阿―ことく桃 ❼きゝつれと―きゝたれと宮國 ❸ふと―ふとも麥阿 ❸いひよらん―いひよらん桃 ❸御文―御ふみは保阿桃 ❸いかて―いかてか桃 ❾そうつの―そうつは保桃 ❾御しるへは―しるへは宮―御しるへ保桃 ❿そゝや―はゝや國―そ〳〵や桃 ❿なと―と保桃 ❿たゝに―こゝに別 ⓫人―人に宮國 ⓫心えかたく―心つきなく心えかたく麥阿 ⓫侍を―はへる桃 ⓬御ほと―程宮國 ⓬たのみ―たのめ桃 ⓬やう―やう保桃 ⓬いへは―いへと別 ⓭おほ〳〵しく―なお〳〵しう宮國 ⓭侍らむ―侍らんと麥阿 ⓮おほしなりにけれは―成にけれは麥―憂し成にけれは阿 ⓮たてまつれ…次頁1いかて―ナシ麥阿

【青表紙本】❷おはせそ—なおはせそ横榊陽平勝肖三大 ❷こそと—こそと横 ❸われにもあらて—あ（わ）れにもあらて池—あれにもあらて横榊陽平肖三大—あるにもあらて勝 ❹よりて—より勝 ❹御返—御かへり榊平勝肖三大 ❹給て—給はりて横榊勝肖三 ❹まいりなんと—まいりなん陽 ❻しみたり—しみたる平 ❸さま〳〵に—さま〳〵。に横 ❸いまはいかてか—いまはしめてか横—いまはいかて平勝肖三大 ❸あさましかりし—あさましかりし池 ❾よの夢かたり—ゆめかたり横 ❾われなから—我なからも肖 ❿ひとめは—ひとめは榊 ⓫ふみまとふ—ふみまとふ肖 ⓭いと—ナシ平大 ⓮きこえたらむ—補入横

【河内本】❷おはせそ—なをはせそ河 ❸われにもあらて—あれにもあちて七 ❹給て—給はりて河 ❹御尾前大鳳—あはれにもあちて七 ❹給て—給はりて河 ❹うと〳〵しきを—うと〳〵しき御 ❺心うしと—うし ❸いかてか—いかて河 ⓫ふみまとふ—ふみまふ七 ⓬こゝには—みには御 ⓬ゆくゑなき—ゆくゑもなき七

【別本】❶いとことはりなり—けにいとことはりなり宮保國桃 ❶うたておはせそ—なおはせそ宮保國—うたてなおはせそ麥阿—れおはせそ桃 ❸われにもあらて—あれにもあらて宮保國桃 ❸こと人には—こと人にも宮保國桃 ❹そこもと國—そこもと國 ❹御返—御返事宮國麥阿 ❹給て—うけ給はりて宮國—給はりて保阿桃 ❹まいりなんと—まかりなんと宮國—まいりなんとてなと麥阿 ❺心うしと—こゝろうく保桃 ❺御ふみ—御文を麥阿 ❺みせ—ナシ麥 ❻ほのかにみて—ほのみて麥阿 ❼物めての—ものめて保桃 ❼いと—ナシ麥阿 ❼おもふ—みる保桃 ❽御心をは—御心は國桃 ❽おもひ—ナシ宮保國桃 ❽いかてか—いかて別 ❿なん—ナシ保 ❿いかに—いかゝ麥阿 ⓫やまに—やまも保 ⓬人は—人も保—人をは麥阿 ⓬みやわすれたまひぬらむ—みもやわすれ給ぬらん麥阿 ⓭まきらはさん—まきらはかさん桃 ⓮そのひとにも—其人に麥—なをその人にも阿

まつれとて侍つるいかてたてまつらんといへはいとことはりなり猶いとかくうたておはせそすかにむくつけき御心にこそときこえうこかしてきゝ丁のもとにをしよせたてまつりたれはわれにもあらてゐたまへるけはひこと人にはにぬ心ちすれはそこもとによりてたてまつりつ御返とく給てまいりなんとかくうと〳〵しきを心うしと思ていそくあま君御ふみひきときてみせたてまつるありしなからの御てにてかみのかなとれいのよつかぬまてしみたりほのかにみてれいの物めてのさしすき人いとありかたくおかしとおもふへしさらにきこえんかたなくさま〳〵につみをもき御心をはそうつにおもひゆるしきこえていまはいかてかあさましかりしよの夢かたりをたにといそかるゝ心のわれなからもとかしきになんましてひとめはいかにとかきもやり給はす

のりのしとたつぬるみちをしるへにておもはぬやまにふみまとふかなこの人はみやわすれたまひぬらむこゝにはゆくゑなき御かたみにみる物にてなんなといとこまやかなりかくつふ〳〵とかきたまへるさまのまきらはさんかたなきにさりとてそのひとにもあらぬさまをおもひのほかにみつけられきこえたらむ

ほとのはしたなさなとをおもひみたれていとゝはれ〳〵しからぬ心はいひやるへきかたもなしさすかにうちなきてひれふしたまへれはいとよつかぬ御ありさまかなとみわつらひぬいかゝきこえんなとせめられて心ちのかきみたるやうにし侍ほとためらひていまきこえんむかしのことおもひいつれとさらにおほゆることもなくあやしくいかなりけるゆめにかとのみ心もえすなんすこししつまりてやこの御ふみなともみしらるゝ事もあらむけふはなをもてまいりたまひねところたかへにもあらむにいとかたはらいたかるへしとてひろけなからあまきみにさしやりたまへれはいとみくるしき御事かなあまりけしからぬはみたてまつる人もつみさりところなかるへしなといひさはくもうたてきゝにくゝおほゆれはかほもひきいれてふしたまへりあるしそのこきみに物かたりすこしきこえてものゝけにやおはすらんれいのさまにみえ給おりなくなやみわたり給て御かたちもことになり給へるをたつねきこえ給人あらはいとわつらはしかるへきことゝみたてまつりなけき侍しもしるくかくいとあはれに心くるしき御ことゝものを侍けるをいまなんいとかたしけなく思ひ侍ひころもうちはへなやませ給めるを

【青表紙本】❶はしたなさなとを—はしたなさなと陽平 ❷いと—いとゝ勝 ❹し侍—はへる勝 ❺ことも—事横平大 ❺あやしく—あやしう横平勝肖三大 ❺のみ—ナシ榊 ❻事も—ことを陽 ❻あらむ—あらあらん横 ❻もてまいり—もちてまいり陽 ❼かたはらいたかるへしとて—かたはらいたかるへしと肖 ❸たまへれは—給つ（へ）れは肖 ❾なかるへし—なか（りぬ）へし横 ❿あるしそのこきみに—あるしそこのきみに平勝肖三大 ⓬ことゝ—御ことゝ肖 ⓭しるく—補入池 ⓮御ことゝもの—御ことゝも大 ⓮うちはへ—うちはへて横

【河内本】❹さらに—ナシ御 ❻みしらるゝ—みしるに—あるしそこのきみに河 ❿きこえて—しきこえて大 ⓫さまにみえ給—さまにもみえ給はす御 ⓬給へるを—たまひぬるを御 ⓮侍ける—侍る河

【別本】❶はしたなさなとを—はしたなさと宮國—はしたなさを保桃 ❷かたも—かた保麥桃 ❷ひれふし—ふし保 ❷御ありさまか—御ありさまを桃 ❸みわつらひぬ—みわつらひて保桃 ❹し侍—しる桃 ❹おほゆる—おもほゆる麥阿 ❺いかなりける—いかなる保桃 ❺つまりて保—つまりてや—しる保桃 ❻なとも—なと宮國 ❻みしらるゝ—みへにも—所たかへにもや麥阿 ❻事も—ことも—ともや保麥阿桃 ❼ところたか麥阿桃 ❼あらむに—あらん保 ❸たまへれは—たまへは保桃 ❸御事—おほんことゝろ保桃 ❸けしからぬは—けしからぬは—けしからぬ御さまは宮國—けしからぬ御さまに保桃 ❾なと—と宮國—と麥阿 ❾いひさはく—いひさはきて桃 ❾うたてきゝにくゝ—いとうたてきにくゝのみ宮國 ❾おほゆれは—おもほゆれは麥阿 ❿かほも—かほを保桃 ❿あるしそこのきみに—あるしそこの君に別 ❿物かたり—物かたりなと宮保國桃 ⓫おりなく—おりもなく麥阿 ⓬ことに—こと〳〵に宮國 ⓬給へるを—給へる宮國—たまひたるを保桃 ⓬わつらはしかるへき—わつらはしかりぬへき保桃 ⓭かく—ナシ麥 ⓭いと—ナシ保桃 ⓮侍ける—侍麥阿桃 ⓮いま—と麥 ⓮いとかたしけなく—いとゝかたしけなくそ宮國 ⓮うちはへ—うち保—心ちうちはへ阿—心ち桃

【青表紙本】❶物おほえさせ—物おほえさせさせ横—物おほしえさせ平—物おほえさせ肯　❷なんと—なと横榊　❸たてまつれさせ—たてまつらせ勝—たてまつれ三　❹すらむ—すらんと勝　❺なむと—なと横勝　❺うつしかたれとも—うつしかたれと榊大　❺ものの給はねは—ものゝたまはねは横　❻なめり—なんめり三　❼ほとにも—ほとにも横　❼侍めるを—はへめるを三　❼やまかせふくとも又もかならす—補入勝　❽すゝろに—すそろに横　❿ならひにとそ—ならひにとそ本には（はハ補入シテミセケチニセリ）はへる池—ならひにとそ本にはへるめる勝榊平—ならひにとそ本にはへめる勝肯大

【河内本】❷なんと—なと七　❺うつしかたれと河んと七　❺かくなむと—いくなくとも河　❸かへりなんとす—かへりなとす御　❼やまかせふくとも—山ふかさましく—ナシ七　❿すに侍る七　❿ならひにとそ—ならひにとそ本

【別本】❷きこゆ—きこゆる桃　❷心ちは—心は宮國—心ちには麥阿　❸あはてたる—遊たる麥—すさみたる阿　❸たてまつれさせ—たてまつらせ宮國　❸給へる—給へるに宮—給つる國　❸しるしに—しるしには宮保國　❸なにこと—なにを—なに事をか宮保國桃　❹きこえさせんとすらむ—きこえさせむすらん保　❺なと—と保桃　❺なむと—なと麥阿　❺うつしかたれとも—うつしかたれと宮保國桃—うつしかたりけれと麥阿　❻へたゝらぬ—へたゝらん麥　❼侍める—侍る宮國　❼やまかせふくとも—ナシ保—山ふかくとも國麥阿　❼又もかならす—かならす又宮保國—かならす麥阿—かならすまたも桃　❽ゐくらさむも—くらさむも保　❽あやしかるへけれは—あやしけれは宮國　❽かへりなんとす—かへりなんとてけふ保桃　❾御ありさまをも—御ありさまを宮保國桃　❾えみす—みす保　❾心ゆかすなからまいりぬ—ナシ桃　❿いつしかと—いつしかとおほして保—ナシ桃　⓫さま〳〵にて—さまにて麥　⓬おもひよらぬ—おもひよる保　⓬ならひにとそ—ならひにとそ本にはへめる宮—ならひとそ保—ならひにとそ本に侍國桃

いとゝかゝることゝもにおほしみたるゝにやつねよりも物おほえさせ給はぬさまにてなんときこゆところにつけておかしきあるしなとしたれとおさなき心ちはそこはかとなくあはてたる心ちしてわさとたてまつれさせ給へるしるしになにことをかはきこえさせんとすらむたゝひとことをのたまはせよかしなといへはけになといひてかくなむとうつしかたれとももものの給はねはかひなくてたゝかくおほつかなき御ありさまをきこえさせ給へきなめりくものはるかにへたゝらぬほとにも侍めるをやまかせふくとも又もかならすたちよらせ給なんかしといへはすゝろにゐくらさむもあやしかるへけれはかへりなんとす人しれすゆかしき御ありさまをもえみすなりぬるをおほつかなくくちをしくて心ゆかすなからまいりぬいつしかとまちおはするにかくたと〳〵しくてかへりきたれはすさましく中〳〵なりとおほすことさま〳〵にて人のかくしすへたるにやあらんと我御心のおもひよらぬくまなくおとしをきたまへりしならひにとそ

昭和十七年九月二十五日印刷
昭和十七年十月二十五日發行

限定壹千部之内
第貳百貳拾七號

校異源氏物語　定價金壹百貳拾圓

編著者　芳賀博士記念會
右代表者　藤村作
編纂責任者　池田龜鑑
發行者　湯川龍造　東京市麹町區丸の内二丁目二番地の一
印刷者　白井赫太郎　東京市神田區錦町三丁目十一番地
印刷所　東東四一　精興社　東京市神田區錦町三丁目十一番地
配給元　日本出版配給株式會社　東京市神田區淡路町二丁目九番地
發行所　中央公論社　東京市麹町區丸の内二丁目丸の内ビルディング五八八區
會員番號第一一七五〇七號

出文協承認ア90339號

裝幀　恩地孝四郎

製本　村田利吉

表紙刻並摺　西村熊吉

表紙裏題簽刻並摺　都築德三郎

檢印票刻並摺　深澤索一

布地供給　赤尾平八郎

用紙供給　山田商會

校異源氏物語

全

913.36-k-H
1200600644834
集約済 5冊